

別記様式

議会報告会実施報告書

開催日時	令和6年11月 9日 10時00分 ～ 11時30分			
開催場所	錦田公民館			
出席議員	班長	古長谷 稔	副班長	宮下 知朗
	村田 耕一、本間 雄次郎、河野 月江、甲斐 幸博、永田 裕二			
欠席議員	なし			
参加人数	6人			
実施内容	<ul style="list-style-type: none">・出席議員自己紹介・議会改革についての報告・議員定数の在り方についての報告・報告内容に対する質疑応答・議員定数に関する意見交換・意見交換のまとめ			
主な意見 ・提言等	別紙のとおり			

令和6年11月 9日

三島市議会議長 様

三島市議会報告会実施要綱第11条第1項の規定により提出します。

令和6年度議会報告会 経済建設班 班長 古長谷 稔

意見交換1（課題出しと選択）

【議会全般】

- ・二代表制、行政への監視機能が果たされているのか。
- ・定数の前に議員の質の問題
- ・市民と議員の交流や意見交換の場があまりなく、関心が薄い。
- ・そもそも議会報告会の参加者人数そのものが少なく、残念。
- ・三島市の予算組みの過程がわかりにくい。
- ・要望の順序がわからない。

【個別議題】

- ・コミュニティバス問題が深刻。市民の移動手段問題。
- ・駅前ロータリーを改修する必要性を感じない。
- ・駅前トイレ問題は解決していない。
- ・駅前西街区、広域観光交流拠点の機能果たしていない。

→今回は議員定数の議題であったが、総じて、定数議論を入り口に、議会の機能や質、個別問題に対する議会や行政の対応について、市民意見は多く、定数そのものについては議員としての質が維持、向上されてから、というニュアンスの意見交換であった。

意見交換2（課題の解決に向けて）

意見交換1を経て...

【議員定数増】

- ・多くの市民意見を反映してもらえる。
- ・女性議員を増やすためにも、受け皿を増やしたほうが良い。
- ・近隣市町や周りの状況を見て、三島市も定数削減をする理由も必要性もない。
- ・議員の質の問題であり、質が上がれば、当然定数も増やしたほうが良い。
- ・町を良くするためなら、「削減」ばかり議論してもしょうがない。

【議員定数維持】

- ・現状は多くもなく、少なくもない。

【議員定数減】

- ・意見なし

その他の意見

・町を良くするために、多少経費がかかっても、行政や議員は多くもらい、多くを仕事で返せばいいだけ。

→意見交換全体を通して、定数の問題ではなく、あくまで「議員の質の問題」という認識が多くあったと感じる。

意見交換1（三島市の議員定数はどうあるべきなのか）

- ・議会・議員の情報発信の不足（わからない）
- ・議会・議員の果たしている役割、議会の内容が見えていない（わからない）
- ・人数よりも、議案あたり・議員1人あたりのコストの効率化（わからない）
- ・コストを考えれば少ない方がよい（削減）
- ・議員の質が大事である（現状維持・削減、どちらの意見もあり）
- ・住民の多様な意思が反映される事が大事（現状維持）
- ・議員の政策立案能力を確保（現状維持）
- ・議員一人当たりの有権者数を考え（現状維持）
- ・市民に近い議員であるべき（現状維持）
- ・人口に対してほぼ適切（現状維持）
- ・多いとは言えない（現状維持）
- ・20人くらいがよい（削減）
- ・島田市・袋井市に照らし財政規模から2人削減（削減）
- ・標準財政規模から2人削減（削減）
- ・これからの人口減少を考えて（削減）

意見交換2（三島市議会・議員に期待する事、取り組んでほしいことは）

- ・もっと報告会など意見を聞く機会を増やしてほしい
- ・エリアの課題をひろいあげる議会報告会を開いてほしい
- ・夜間・休日に働いている市民からの意見を聞く機会と参加できる機会を作してほしい
- ・議会でのAIの活用をしてはどうか
- ・費用対効果をあげてほしい

その他の意見

・